

図書館だより

12月号

令和7年12月1日
港区立青山中学校
校長 佐々木希久子
学校図書館司書 三島裕美
学校図書館支援員 武田優子
桑畑恵美
小川順子



いよいよ年の瀬も迫ってきました。冬休みにはどんなことをして楽しむか、計画を立てている人もいます。

長期休みはまとめて読書ができるチャンスです。時間がなくて手に取らなかった本にチャレンジしたり、シリーズものを一気に読みするのも楽しいですね。ぜひ図書館へお気に入りの本を探しにきてください！

<12月の特集展示>

『ようこそ古典の世界』

「絵で見てわかる はじめての古典」シリーズ全 10 巻を新たに購入しました。難しそうに感じる古典の名作が、やさしい解説で読めます。他にも、古典に親しみやすく楽しめる本も展示しました。昔の人の知恵や感動を知ることと昔をつなぐ旅に出てみませんか？

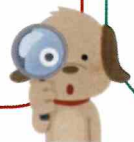
<今月の“調べてみた！”>

秋も深まり、青中の校庭にはどんぐりがたくさん落ちています。採取したのは大小二種類のどんぐりです。青中図書館で『日本どんぐり大図鑑』を見てみると、「これかな？」と思うものの、実だけでは判別がむずかしい。AI で画像検索もしましたが候補とは違う結果に。再度校庭に出て幹と葉を観察したところ「シラカシ」「マテバシイ」の木の実であることがわかりました。「マテバシイ」のどんぐりは苦みが少なく、食べられるどんぐりだそうです。秋の恵みですね。

参考文献

『日本どんぐり大図鑑』徳永桂子著／偕成社
『どんぐりの食べ方』井上貴文著／素朴社
『どんぐりの謎』盛口満著／どうぶつ社

*すべて青山中学校図書館蔵書



図書委員会イベント

図書委員会オリジナルしおり

大公開！

11月21日(金)から、2025年後期図書委員会イベントが始まっています。読書の秋、本を借りて返す時に一言！添えて、図書委員のオリジナルしおりをGETしてくださいね！



イベント予告

今年もやります！【青中版】2025年

10大ニュース投票

青山中図書館では、毎年12月1週目に出される読売新聞ワークシートを使用し、青中生が選ぶ10大ニュースを決定しています。2025年はどんな1年だったのか、ニュース(国内)の項目から気になったもの10個を選んで投票してください。的中率の高かった人には文房具などの景品をプレゼント！

用紙は読売新聞から提供され次第、先生と生徒の皆さんに配布します。



名作まちがいさがし

「鴻門の会」～「史記」より～
司馬遷

主君である劉邦の危機を救うため、部下の樊噲は会合に突入し、項羽をにらみつけます。その勇猛さに感心した項羽は、彼に酒や豚肉の塊を勧めます。緊迫した雰囲気の中、樊噲は酒を飲み干し、剣で肉を切って食べるのです。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



激ムズポイントのヒント:襟(えり)

作品の概要・解説

紀元前二〇六年に起きた「鴻門の会」は、共に中国の秦帝国を打倒して覇権を争った英雄、項羽と劉邦のエピソードです。当時、対立が深まっていた二人の和睦のために会合が開かれますが、これを好機と、項羽の部下は劉邦暗殺を企てます。劉邦と部下は、危険な会をどう切り抜けるのでしょうか……？

この物語が取められた「史記」は、紀元前九一年ごろに完成した、全一三〇巻の歴史書です。神話時代の黄帝から前漢の武帝までの中国の歴史をとりあげて

皇帝や武将などの人物の業績を中心につづる紀伝体という形式で書かれています。歴史書でありながら、文学的な評価も非常に高く、後に「史記」を元に作られた作品も数多くあります。小説「項羽と劉邦」(司馬遼太郎)、漫画「キングダム」(原泰久)などはその代表です。

著者の司馬遷(前145～前86年ごろ)は、中国の歴史家です。異民族の匈奴に降伏した將軍、李陵を弁護して皇帝の怒りに触れ、宮刑に処されますが、歴史への意欲は衰えず、大著「史記」を完成させました。

※「史記」は明治書院など、各社から発行されています。

12月のおすすめ本

『日本どんぐり大図鑑』

657ト

徳永桂子(偕成社)



図書館だよりおもて面の「今月の“調べてみた!”」の参考文献です。著者が各地で観察した木とどんぐりの詳細はもちろんどんぐりを持ち帰り発芽させて、その芽生えも細密画で描いています。実物大の実の細密画は、青中のどんぐりは何の木の実なのか調べるのに役立ちました。調べ学習のお手本のような内容で、一読の価値あり!です。

(武田)

『零から0へ』

913マ

まはら三桃(ポプラ社)



かつて戦闘機「零戦」を作っていた技術者たちが、戦後「今度は平和のために技術を生かそう」と立ち上がり、日本の未来を託した超特急「新幹線0系」の開発に挑む、実話を元にした物語です。数々の困難にぶつかりながらもあきらめない情熱、世代や立場を超えて協力し合う大切さ、そして技術の可能性を実感できる一冊です。

(小川)

『ポリぶくろ、1まい、すてた』

289シ

ミランダ・ポール(さ・え・ら書房)



西アフリカで実際のあったお話。破けてしまった1枚のポリぶくろを地面に捨てたことから村がゴミであふれかえり、大変な状況になりました。主人公アイサトは問題に気づき、解決するために仲間と共にゴミを使って財布を作り、村に元気と笑顔を取りもどしました。世界中で問題となっている環境問題を考える機会にしてください。(桑畑)

『神さまの貨物』

953/グ

ジャン＝クロード・グランバール (ポプラ社)



戦争中、森で暮らす木こりの夫婦が、貨物列車から投げられた赤ちゃんを見つけて育ててゆく物語です。悲しい時代を背景にしていますが、読むと人の優しさや思いやりの力を感じます。また、どんなに苦しい状況でも、希望の光は消えないことを教えてくれます。木こりの夫婦の勇気と愛情が、命の大切さを優しく伝えてくれる希望の残る物語です。(三島)